

# 車載分散データセンタ

主たる提供特許	出願者	長崎大学
	題名	車載計算装置、車両およびシステム
	番号	特願2018-063707

## 駐車中の車載コンピュータを活用する超分散システム (Vehicles as a Cloud)

### 技術概要

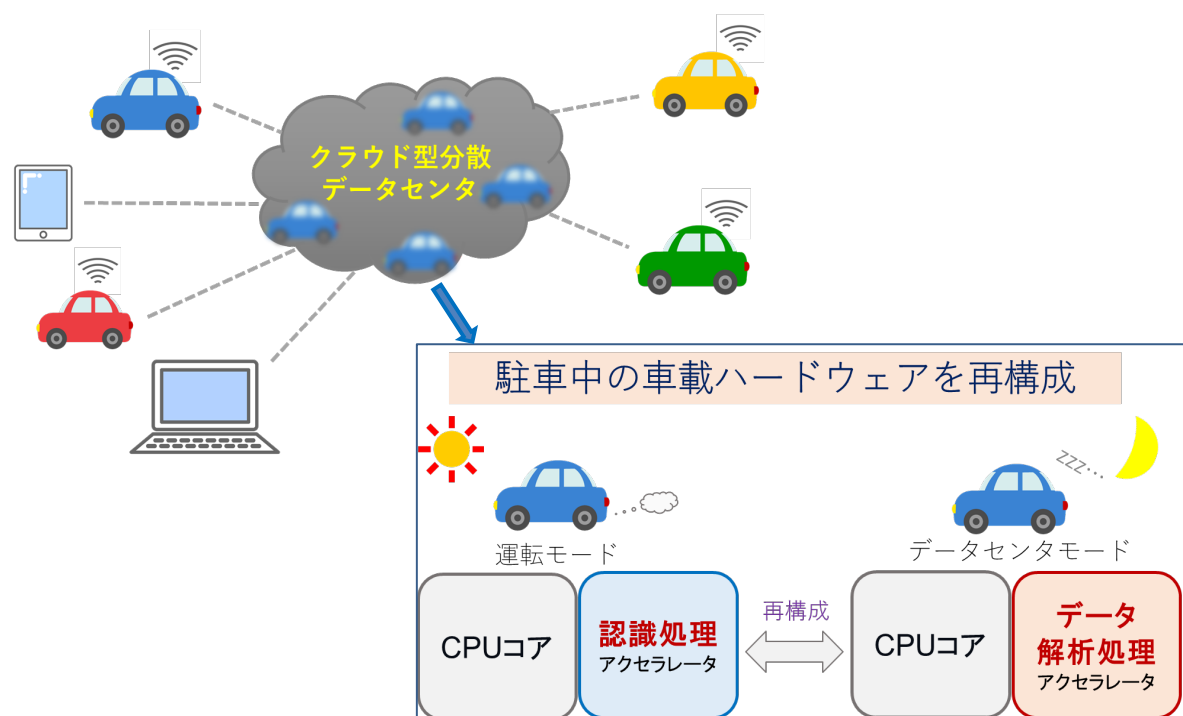
#### 発明の背景

従来のデータセンタは、多くのコンピュータを接続した大規模な設備が必要であり、  
① コンピュータだけでなく空調が整ったマシン室等の大規模な設備や電力が必要で、場所の確保や大規模な設備投資が必要である。

② 設備の規模や電力供給等の関係から地方に立地されるケースが多く通信遅延が発生する。などの問題がある。

#### 発明概要

駐車等で休眠中の電気自動車をネットワーク化することで超分散コンピュータシステム(データ計算資源)として捉え、広域分散型のクラウド型データセンタとして活用できる。具体的には、自動運転等に必要電気自動車上の認識処理アクセラレータを、データ解析処理アクセラレータ(運転モードからデータセンタモード)に再構成することで実現する。



#### 特長

- ・大規模な設備のための場所の確保や設備投資が不要
- ・安価で、素早くアクセスできる、分散型のデータセンタ化が可能
- ・計算性能を維持しつつ、計算量に対応した電力の最適使用効率が可能

### 応用分野

#### 実用化例

- ・大規模なデータセンターがない離島などの遠隔地や過疎地域でのデータ計算用インフラ
- ・災害等で既存の“集中型”データセンタの補助バックアップシステム

### 企業へのメッセージ

実用化にご協力頂ける企業様を探しています。